

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第9回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

① 自主的審議について

1) 町内会長との意見交換会について（振り返り）

- ・会の運営・進行について
- ・津有区の課題について

2) 今後の進め方について

3 開催日時

令和3年3月22日（月）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：猪俣敦子、大滝英夫、小林進、千代金治、田中博三（副会長）、中島 功、
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席3名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認者：古川 仁委員

次第2 議題「(1) 協議事項」の「① 自主的審議について」の「1) 町内会長との意見交換会について（振り返り）」に入る。本日は2月に開催した「町内会長との意見交換会」の開催結果について審議を行う。最初に「会の運営・進行」について意見や感想を聞いていく。事務局に説明を求める。

【山崎主事】

- ・説明

【藤本会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは出席した委員より、意見交換会を振り返って感想等を発表願う。

【古川 仁委員】

今回の意見交換会で自分はグループでの進行を務めたが、慣れていないため最終的な結論を出せず、発表を担当した古川 勝夫委員に迷惑をかけた。

内容についてであるが、まず日程はよかったと思う。次に、自分は町内ごとのぼらつきのようなものを感じた。特に自分のグループは、津有南部地区の委員や町内会長と、津有北部地区の町内会長であったため、やはり町内によって微妙な差があった。意見交換の中身的には、事前に配布された資料に従って進めたが、やはり進行が不慣れなため、意見をいただいたが、最終的にどうするといった結論があまり出せなかった。次回また同じ機会があるのであれば、結論が出るような会議にしたいと思う。

【藤本会長】

町内会ごとのぼらつきとは、要するにそれぞれの立ち位置が違うために、意見がうまく噛み合わなかったということか。

【古川 仁委員】

片や町場と、片や我々の田舎の方の町内であったため、やはり若干ギャップがあったのだが、具体的にどうだったのかについては長くなるため割愛する。

【藤本会長】

要するにそれぞれ立地する町内の条件が違うため、意見がうまく噛み合わない面があったということで理解してよいか。結論を出すか出さないかについては、短い時間

であったが、それでも有益な意見が出たということによかったと思う。

他の委員からも発言願う。

【千代委員】

昨年から1年間委員をやってみて、全然過去のことを知らずにいろいろなことを発言してきたが、古川 仁委員の発言のとおり、地域によって差はあると思う。でも、過去の協議会の資料を読むと、どこの町内も同じような問題を抱えているのではないかも感じている。

当日、自分はグループでの進行を務めたが、ここに来ていきなり司会という話があったため、少し戸惑った。事前に分かるとよかったと思うが、これは致し方ない部分もあると思う。欠席等の関係で記録の担当も予定と変更になったということもあったが、事前に分かるとありがたい。

1年目であるため分からないことが多く、実際にはあまり意見をまとめられなかったことが多かったと思う。それぞれの地域が持っている悩みというものは、どこも共通して抱えているのだと捉えることができた。中には町内ごとの差もあるとは思いますが、そういった地域の差や違う町内の方の意見も聞けたことについては、ありがたいと思う。それに対して何ができるのかについては、検討に月日もかかるだろうし、いろいろなやり方もあるため、そこは今後よく考えていかなければならないと思う。とにかく初めてであったため、有益な会だった。今年の大雪の話で盛り上がり、最終的にあまり大きなまとめにできなかったことについては、反省している。

【藤本会長】

先ほどの古川 仁委員と同じように、地域の差というか、地域ごとにそれぞれ立ち位置が違っているということはあるが、逆にそのことによって、違う地域の話が聞けてよかったというメリットもあったということである。グループでの進行等の役割については事前に資料で連絡があったと思うが、事務局から補足願う。

【山崎主事】

今回の意見交換会の資料を送付した際に、グループでの進行や記録について委員にお願いする旨を事前にお知らせしていた。12月に開催した前回の協議会の時点ではそこまで連絡できなかったため、書面での連絡となった。

【藤本会長】

役割について、全く連絡がなかったわけではなく、あらかじめ書面での連絡があり、

進行シナリオも用意されていたと思う。ただ、事前に集まって進行の打ち合わせができなかったことについては、反省点でもある。

次に、古川 勝夫委員の発言を求める。

【古川 勝夫委員】

自分は発表を担当したが、問題点について全体的にまとまらず、どうやって発表したらよいか迷ったものがたくさんあった。でもどこのグループも同じような課題であり、高齢者の関係や今年の除雪に関すること、また空き家関係など、いろいろ出ていた。まとめることに苦労しながら自分なりに発表したが、なかなか答えが出なかった。どこの町内も同じような問題がたくさんあるということは確認できた。

【藤本会長】

他の委員と同じように、ある程度共通するような課題が確認できたということであった。また、発言の内容が多岐にわたることや、町内会長の発言を優先して委員は基本的に喋らないという事前の申し合わせがあったことから、どんな意見が出てくるかわからずまとめることには苦労したと思う。

次に、大滝委員の発言を求める。

【大滝委員】

自分は進行を担当したが、なかなかこういう経験が今までなかったため、戸惑ったところも多々あった。自分のグループでは、何かはっきりしたテーマに沿って話すというよりは、世間話のような感じであり話の焦点が定まらず、いろいろな話題が出たため、発表の担当の方はまとめることに苦労したと思う。

先ほど結論が出ないという話があったが、今回の意見交換会は、あくまで結論を出すことが目的ではなく、まず地域にどんな課題があって、それを今後どうしていくかについての皆さんの考え方を聞くような機会だったと自分は思っている。結論はすぐに出るものではないため、今後の話し合いの中で一つ一つ検討していくことが今後の課題だと思う。地域協議会で今話し合っている内容と同じような意見が町内会長からも出てきているため、これまでに上がっているようなテーマがやはり今後の議論のメインになってくると思う。

【藤本会長】

話のテーマは絞れなかったが、逆に結論が出なくても課題を羅列的に出していただき、それを我々が整理することで今後の課題が見えてくると思う。それについては、

この後の具体的な内容の協議で詰めていきたいと思う。

次に、中島委員の発言を求める。

【中島委員】

空き家問題、高齢者、一人暮らしということで多々話があったが、生活の多様な面から、すべて一人暮らしが悪いという問題の捉え方は違うように感じている。今後この話をするときには、少し言葉を選んだほうがよいと思う。

【藤本会長】

会の運営面についてはどう思うか。

【中島委員】

よかったと思う。

【藤本会長】

次に、田中副会長の発言を求める。

【田中副会長】

自分のグループは6人中3人が平成町の住民で少しがっかりした。違う地域の方の新鮮な考え方も聞きたかったからである。課題の内容については大体、今までに話しているようなことが出たが、自分は、各町内会長がどういう意気込みでいるのか、あるいはどんな解決方法を考えているのかについて注意して聞いていた。小さい町内では、少ない人口の中で役員を中心として活動しているが、やはり人材が不足していると感じた。これは感想であるが、自分は過去に400世帯ほどの規模の中で話し合った経験があるため、それと比較すると、小さい地域ではあまり組織で活動しにくいのではないかと思った。だから、やはり小さい地域の方は協力していかないといろんなことができないのではないかと思う。

また運営については、1グループ6人程度で約40分間話したが、時間的に深く話せなかった。

【藤本会長】

自分も感想を発表する。グループでは、たくさん喋りたい町内会長とそうでない方がいらっしゃって、そうするとどうしてもその方の意見が多くなってしまいが、話を遮るわけにもいかないため少し難しい部分もあった。自分としては、参加いただいた町内会長の皆さんから1人1回は必ず意見を言っていただくように心掛けて進行することができた。我々にとって初めての会であったことや、参加者の問題意識が異なるこ

とから、なかなか上手くまとめられなかったが、今回は課題を探ることが大前提で、結論を出すことが目的ではないと捉えていたため、その意味では非常によかったと思う。ただ、先ほど話があったように、似たような町内がよいのか、全然違う町内がよいのかというグループ分けの問題については、今後考えていく必要があると思う。また、もっと多くの町内会長から参加いただけると、また違った問題が掘り下げられたのではないかと感じている。

その他、当日欠席した委員で質問等はあるか。

【小林委員】

先ほど田中副会長から、世帯数の少ない町内は協力しないとできないという話があったが、それは外部からの協力ということか。

【田中副会長】

外部というより、周りの町内同士の協力である。

【藤本会長】

他に意見等あるか。

(発言なし)

本日いただいた意見は、今後他の団体と会議等を開催する際の参考とする。

次に、「津有区の課題について」に入る。事務局に説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料1に基づき説明

【藤本会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

資料1の「地域の方の意見（R3.2.26 町内会長との意見交換会）」の欄について、追加や修正の意見がある委員は、挙手のうえ発言願う。また、内容に対する疑問点や、記載内容について補足説明があれば、発言願う。

【古川 仁委員】

「安心安全」についてであるが、何年か前に小学校に防犯カメラの設置を要望したところ、駄目だと言われたと町内会長が話していた。だが、詳細は分からない。

また地域の偉人について、自分のグループでは、ツアーを組んで偉人巡りのようなことをしてはどうかと話していた。前島密翁を筆頭にこの地域では何人か偉人を輩出

しているため、それによって地域活性化を図ったらよいという話も出ていた。

【藤本会長】

防犯に関して、小学校に防犯カメラの設置を依頼したら断られたという話があったということだが、多分資料に括弧書きで書いてある「学校との調整やプライバシー保護の関係で可能かどうかは分からない」ということだと思う。

【古川 勝夫委員】

その意見についてだが、以前、防犯カメラの設置について学校に相談したところ、プライバシー保護の関係で設置はできないという答えがあったと自分は聞いた。今後どのようなようになるかは分からないが、実行するためには学校との調整がかなり難しいという意見も出ていた。

【大滝委員】

防犯カメラの設置に関して、自分も以前発言したが、自分の考えとしては、学校内に設置するのではなく、学校の出入口付近や通学路の大通りに1、2個あるとよい思っていた。中学校も含めて通学路の途中に何個かあれば、少しでも防犯の役に立つのではないかと考えていた。自分の当初の考えは学校内ではないということを伝えておく。

【藤本会長】

防犯カメラの件については、学校との調整がどのように行われたのか分からないため、ここでこれ以上深掘りしても進まないと思う。だが、こういうことも必要ではないかという我々の方向性は持つことができたと思う。

また偉人に関することについては、今後そのことについて取り上げていくことになった場合、具体的に深掘りしていくことになると思う。

他に意見等あるか。

【田中副会長】

防犯に関して、具体的にこの辺りで事件や事故などの事例はどの程度あったのか。

【古川 勝夫委員】

そこまでは把握していない。

【千代委員】

それは戸野目小学校の件か。上雲寺小学校か。

【古川 勝夫委員】

上雲寺小学校である。

【千代委員】

上雲寺小学校との調整がどのように行われたかは分からないが、今の時代は確かにプライバシーの侵害は問題である。この防犯の件について、地域協議会が話を持つべきなのか、市に要望として出したほうがよいのか分からない。プライバシーを重視することは大変大切なことであるが、でもやはり子どもたちを守るためには、学校付近や通学路にそういうものの設置が必要だと思う。この件については、地域協議会や地区の協議会などが、皆さんの意見を取り入れて市に要望として上げることになるのか分からないが、ここだけの問題ではなくて市全体の問題にもなっていくのではないかなと思うため、ここはひとつ会長にお願いしたい。

【藤本会長】

今の件は、この後の協議の中でする内容である。

他に追加や修正の意見や、印象に残った話等はあるか。

(発言なし)

では自分から一つ紹介する。

自分のグループでは、下池部の町内会長から前島密翁について話があった。渋沢栄一とほぼ同じ時代を生きた人で、日本を動かした人であるのに、1円切手の中に肖像画があるだけで、皆さんあまり分かっていない状況である。ぜひこれは下池部町内だけの問題にしないで、津有区全体で取り上げて何とかしてほしいと話していた。下池部に顕彰碑があるが、来年はその献碑祭が100周年ということで、大々的にやりたいという話もあった。ぜひ地域協議会での一つの話題として取り上げてほしいと強くおっしゃっていたことが印象に残ったため、報告する。

他に意見等あるか。

(発言なし)

それでは、今までの意見もこの中に付加しながら、さらに深めていきたいと思う。

次に、「2) 今後の進め方について」に入る。事務局に説明を求める。

【山崎主事】

- ・今後の進め方について説明

【藤本会長】

今後の進め方として、引き続き情報収集を行うか、本日テーマを決めるかについて

協議していく。そのためには、資料1の一覧表ではイメージが掴みにくいということで、あくまでも一つの例であるが、視覚的に課題等を整理した資料を別に作成した。これについて少し説明をしてから今後の進め方の協議に移りたいと思う。

まず、安心安全に係る整理である。内容としては、車上荒らしの問題、パトロールの問題、防災意識の問題、それから今回の豪雪に関わる問題があった。大雪に関しては、特に一番身近な事例であったため、結構どのグループでも話し合われたと思う。

次に、少子高齢化に係る整理である。これは結構多岐にわたっていて、空き家の問題、町内行事がなかなかうまくいかないこと、また一人暮らしの問題。ここでの一人暮らしとは、主に一人暮らしの高齢者のことを指していると思う。それから、様々な地域の活動をするときに、担い手が不足しているという話もあったと思う。それからその他として整理を試みた。どんなことが大きな課題としてあるのか、我々が頭の中で津有区の課題をイメージできるように、視覚的に整理した。

最後に地域の特長に係る整理である。地域のよさに関する意見もたくさん出ていたほか、先ほどから話も出ているが、地域の偉人に関する意見もいくつかあったため、整理した。

これは一つのまとめ方の例であるため、これがすべてではないが、ご覧いただきたい。本来であれば、グループワークをしながら自分たちでこの整理ができればよかったが、なかなか時間もないため、まとめ方の例として作成した。ここまでの説明に質問等あるか。

(発言なし)

それでは、課題の整理について確認していく。

まず安心安全に係る整理について、このような形でよいか。

(よしの声)

次に少子高齢化に係る整理についてである。6つのグループに分けて整理したが、それぞれがどのように関わっているのかについてはまだ整理していない。これがどう関わっていくのかについてはこれから整理していく必要があると思う。今日はその繋がりを整理するところまではいかないが、現状はこのような形でよいか。

(よしの声)

最後に、地域の特長に係る整理である。課題だけではなく、せっかくある津有区のよい面を伸ばしていくことも、私たちの仕事の一つではないかという意味合いで、こ

の地域のよさの部分や、前島密翁の顕彰などを筋として考えていくこともよいと思う。例えば金谷区では、後谷集落へ向かう古道の整備を地域活動支援事業を活用して進めている。また例えば五智公園へ行くと、季節ごとにリーフレットが置いてあり、ここへ行くとこんな花が咲いていてこんな鳥がいるという紹介が書かれている。それをよく見ると、地域活動支援事業で作成していると書いてあるのである。課題に対して対応するということもあるが、よさを伸ばすという面での活動もあるため、そのことも視野に入れていく必要があるかと思った。この整理についてもこれでよいか。

(よしの声)

それでは、引き続き情報収集を行うか、本日テーマを決めるかについて、意見のある委員は挙手のうえ発言願う。

【千代委員】

今回の町内会長との意見交換は、過去にも年に1回程度行っていたのか。それとも年に何回かやっていたのか。

【山崎主事】

前期4年間の実績では、平成28年度・29年度・令和元年度に町内会長と意見交換したほか、平成29年度には地域の活動団体との意見交換も行った。だが、年に何回も行うということはあまりなかった。そのほか、同じ雄志中学校区の諏訪区と高土区の地域協議会と合同で、雄志中学校の生徒との意見交換会も開催した。

【千代委員】

提案であるが、例えば津有区以外の方との話し合いもしてみてもどうか。協議会委員全員ではなくとも、それぞれの地域の何人かが集まって、各地区の問題点や悩み事などをお互いに話し合える場を作ることができるのか。それも含めて聞きたい。

【藤本会長】

事務局から説明願う。

【本間センター長】

高土区では、過去に地域の課題を見つけられないという三郷区からの声掛けにより、合同の話し合いを1度だけ行ったことがある。

【藤本会長】

他の地区、特に隣接していない地区との関わりであれば、年に1回の地域協議会会長会議で他区の会長と情報交換会を行っており、そこが限度だと思う。隣接区であれば、

例えば諏訪区や高士区は同じ雄志中学校区であるため、共通の課題はないか協議をすることは可能だと思う。

他に意見等あるか。

【中島委員】

テーマは絞ったほうがよいと思う。そうでないと何を話したらよいか、何を具体的に聞いたらよいか分からなくなる。個人的な意見としては、前島密翁に関連して具体的な今後の取り組みを決めた方がよいと思う。上雲寺小学校には、小学校を作られた中村先生の公園があり、自分も実際に行って石碑を読んできたが、そこから前島密翁繋がりではない、いろいろな繋がりが見えてくるように思う。また今から30年程前、戸野目小学校の副読本として、郷土の偉人、郷土の歴史をまとめた、当時の戸野目小学校の先生有志で作られた本があり、そこにもいろいろな立派な方がいらっしやると書いてあった。そのためそこからもう少し広げていけば、面的な繋がり、より具体的にどういうふうにやったらよいかということが、考えられると思う。なかなか他の問題は非常に大きな問題で難しいと思う。長年やってきても答えが出ていないというのもそのためである。今回は前島密翁に関連した内容一つでどうかと思っている。

【藤本会長】

前島密翁に関連して、地域のよさも含めてということによいか。

【中島委員】

そうである。

【千代委員】

先ほど会長から古道の整備という話があったが、例えば前島記念館あたりを拠点としてそこに歩いて向かえるように何か仕掛けたり、そのほかにも偉人の方がいるため、そういった昔の資料なども取り寄せて、そしてここで話し合っ、目標の看板みたいなものを立てるといった方法の話合いも、一つの一番よい方法だと思う。そのほかのいろいろなテーマは自分たちにとっては大き過ぎるし、我々で解決できるものではないと思う。そういう問題を解決するためには、やはり地域の偉人巡りのように、歩いて回ってもらうようなプログラムなどを作るようなことも一つの方法なのかなと思う。1年はじっくり話し合っ、次年度に何か実行に移していけるようにすることが一番よいと思う。

【小林委員】

下池部で前島密先生の行事の時に町内会で何かやっていたと思うが、町内会以外にも関連の団体があったと記憶している。

【藤本会長】

「前島密翁を顕彰する会」という団体がある。町内会とは別にある。

【小林委員】

過去にその団体と町内会が一緒にやるという話があったが、実現しなかった経緯があると思う。その団体も巻き込むわけにはいかないのか。

【藤本会長】

中身的なことはこれからであるが、できたらその団体とも一緒にやりたいという話も聞いているため、そのことも視野に入れていけると思う。ただ、まだ構想がまとまっていない部分があるため、今はとにかく来年の献碑祭100周年を何とかして盛り上げたいと町内会長が話していた。先般の地域活動支援事業の事前説明会の際にも、少しでもこの予算を使って何かできないかと話していた。ただ、例えばあの場所に休憩場を作ったり土地を買ったりとなると、津有区の配分額590万円ではできないため、まずは例えば、100周年ということでのぼり旗を作りあちこちに並べて、地域住民の意識を高めるという活動であれば、この地域活動支援事業を活用してできるのではないかと話をさせていただいた。

他に意見等あるか。

【古川 仁委員】

今は、中身はともかくテーマを決めてどのように進めるかを話していると思うのだが、前島密翁などの具体的な中身については次の段階だと思う。まずは中身を精査して、その中身によって行政に話を聞くのか、学校を呼ぶのか、また町内会長を呼ぶのかと考えていってはどうか。テーマを決めることには賛成である。

【藤本会長】

今の意見は、テーマを決めることは賛成だが、そのテーマを何にするかについてはもう少し議論したらどうかという意見でよいか。

【古川 仁委員】

そうである。

【藤本会長】

次に猪俣委員の発言を求める。

【猪俣委員】

一番大事な町内会長との意見交換を欠席してしまっただが、資料は一応目を通してきた。安心安全や少子高齢化などの課題に関しては、とても重い仕事だと思う。だが、他の委員からも意見が出ているように、地域のよさを伸ばしていくということは、個人的にはこれなら明るい気持ちで参加できるというか、楽しみながらできる気がするため、これについて進めていくことでよいと思う。やはり委員が前向きに楽しんで話し合い、進めていけることが一番よいと思うため、このテーマがよいと思う。

【藤本会長】

次に大滝委員の発言を求める。

【大滝委員】

自分の中でも、これを全部一気に進めることは無理だと思う。皆さんが今言われたような形で進めて、ある程度上手く行って片が付いた場合に、また次のテーマを考えるとこのように進めてはどうかと思う。

【藤本会長】

次に古川 勝夫委員の発言を求める。

【古川 勝夫委員】

自分のグループでも、前島密翁などをもっとアピールしたほうがよいという意見が町内会長からあった。自分もそう思っているため、やはりこれ一つに絞っていったほうがよいと思う。

【藤本会長】

田中副会長の発言を求める。

【田中副会長】

個人の意見になってしまうが、自分はこの地域に引っ越してきて5年である。前島密翁の功績は分かるが、生い立ちが分からないため、他の地域から来た人間からすると、なかなか親しみが湧かないというか、意識が高揚しないということがある。だが、100年という節目の年を迎えるのであれば、それはとてもよい機会だと思うため、ぜひ盛り上げたほうがよいと思う。

他の課題を見ると、大なり小なり、他の地区でも共通の問題がある。しかし私の知る限りでは、大きい町内は自助努力でやれることはほとんど自分たちでやっている。空き家問題、防災意識、パトロール、一人暮らしなど、町内で独自に計画を作っ

きることはある程度やっている。私はそういうものを見てきたため、こんな課題がある、あんな課題があるというものは、どこも同じである。それが本当に深刻な状態なのか、あるいはそうでないのかが分からないため、はっきり決断できない状態である。でも最初に申し上げたとおり、前島密翁の顕彰に関しては、100周年というせっかくのよい時期のため、ぜひやってみたらどうかと思う。

【藤本会長】

大方の意見が、前島密翁の顕彰や地域のよさについて審議していき、すぐに結論が出るかは分からないが、少子高齢化や安心安全の課題についても視野に入れながら考えていくということで、進めることとしてよいか。

(よしの声)

それでは、このことについてもう少し整理して深掘りしながら、我々が令和3年度から協議していく内容としたいと思う。そのためには、今どういうことが分かっているのか、どういう関係組織があるのか等について調べていく必要がある。また、委員からも何か参考になりそうな情報があれば、事務局に情報提供していただきたい。前島密翁だけではなく、地域のよさをアピールするという方向性をここで確認した。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「2) 今後の進め方について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：4月26日（月）午後6時30分から 津有地区公民館 大会議室
- ・ 内容：自主的審議について、令和3年度の活動スケジュールについて、提案書受付状況について

他に何かあるか。

【山崎主事】

- ・ 前期地域協議会委員を対象とした意識調査の結果の送付について説明

【藤本会長】

他に何かあるか。

(発言なし)

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。